

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年3月22日
貞静学園貞静幼稚園

1 本園の教育目標

伝統と日本文化を大切にしながら、未来を生きる子どもたちに求められる素養をはぐくむ

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① 幼稚園教員としての資質の向上、専門性の向上を図る。
- ② ① 幼児教育の内容、方法の改善を図る。

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教育の質向上のために園内研修を充実させる。	A	東京都私立幼稚園連合会の主催する研修会に教員が積極的に参加した。それをもとに園内研修会を行い、教員の資質向上を図った。外部から指導者を招き、教育相談、発達障害への理解を深める研修を行い、実際の職務に活かしている。
2	ICTを活用した教育活動を取り入れ、教育活動を充実させる。	A	ICTを活用した教育活動の研究のための園内研修会を行い、教員のICT活用指導力を高めた。これにより教育活動の充実を図れた。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	2つの評価項目に取り組んだ結果、教員一人ひとりの資質の向上につながり、教育活動の充実につなげることができた。ICTを活用した教育活動についても保護者、教員のアンケートにも期待の大きさが表れている。今後、積極的にICTを効果的に活用する教育活動の研究を進めていく。 保護者アンケート(回答率76%:「ICTを活用した教育活動について」肯定的な回答96%) 教員アンケート(回答率100%:「ICTを活用した教育活動について」肯定的な回答100%)

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	教員の資質の向上、保育力向上	教員一人ひとりが東京都私立幼稚園連合会主催の研修会に参加し、資質・指導力向上を図る。各学年の保育活動を相互に見合い、話し合うことで指導力向上を図る。
2	ICT活用指導力の向上	電子黒板、書画カメラ等を用い、子どもにとってわかりやすい説明の研究を進める。さらに子どもがICTを活用し、主体的に学ぶ活動を研究する。
3	幼少接続	子どもが小学校入学後に「小1プロブレム」に陥らないような研究と実践に取り組む。小学校の授業を実際に見学に行き(令和5年度は1回)、小学校での指導法を学び、幼稚園での指導に生かす。小学校教育におけるICT活用の情報を得て、幼稚園教育に生かす。

6 学校関係者評価委員会の評価

幼稚園教員の自己評価の結果に対し、評議員等による関係者評価を実施、以下の意見等が出された。

(意見)

- ・自己評価に対する評価基準及び評価項目についての確認と評価基準の見直しについて
- ・今後は第三者評価制度も導入し、外部評価委員からの意見をいただくについて

(評価)

- ・教員の外部研修の取組みが昨年度より大幅に増加していることは質の高い保育の提供が期待されること。
- ・ICT機器の活用を推進する方針は、保護者からの意見からも見られる通り、教育効果向上の成果が確実に表れており、魅力ある幼稚園として発展していくことが期待されること。
- ・新園長の就任により、組織改革、ICT機器導入、外部機関や地域との連携、預かり保育の見直し等、幼稚園を活性化させる取組みがなされており、今後の成果が期待されること。

(評価後の今後の課題)

- ・ICT機器の発展的な活用をするためのスキルアップ
- ・第三者評価の実施について
- ・第三者評価を導入した場合の外部評価委員の選任について